

# J A C S NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第18巻第4号

発行日 2011年2月18日

発行 日本消費者行動研究学会事務局

## 第42回 消費者行動研究コンファレンスのお知らせ

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。現在、コーディネーターの田中洋先生（中央大学）を中心としてプログラムを検討中です。詳細については次号で再度お知らせいたします。いましばらくお待ちください。

開催日程：2011年6月25日（土）・26日（日）

開催場所：早稲田大学・早稲田キャンパス（東京都新宿区）

## 第41回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告

### <統一論題> 日本版顧客満足度指数と消費者行動研究

去る2010年11月6日、7日の両日、兵庫県西宮市の関西学院大学上ヶ原キャンパスにおいて、第41回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。

1日目の統一論題では、産官学プロジェクトで開発・運用が進行中である日本版顧客満足度指数（JCSI）を取りあげ、その開発に際し座長を務められた小川孔輔氏（法政大学）の基調講演と、開発メンバーである南知恵子氏（神戸大学）、小野譲司氏（明治学院大学）、酒井麻衣子氏（多摩大学）による研究報告が行なわれました。その後、朝野熙彦氏（首都大学東京）と山本昭二氏（関西学院大学）をパネリストに加えてのシンポジウムにおいて、日本版顧客満足度指数の開発の詳細や消費者行動研究への影響などについても鋭い内容の議論が展開されました。顧客満足度の概念は消費者行動研究においてすでにお馴染みのものですが、それを指数として実用化するというプロジェクトは、消費者行動研究と社会との関わりという側面においてもインパクトのある内容だと感じられました。

2日目の午前には、恒例となったJACS-SPSS論文プロポーザル賞のプレゼンテーションがあり、また午後実施された自由論題研究報告では、3会場で計31もの研究報告が設定され、数多くの参加者のもと活発な議論がなされていました。

## 学会賞受賞者のお知らせ！

第 41 回消費者行動研究コンファレンスにおいて、学会賞各賞の受賞者が発表されました。

日本消費者行動研究学会優秀論文賞および日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞）の受賞者は、次のように決定されました。

日本消費者行動研究学会優秀論文賞：該当なし

日本消費者行動研究学会研究奨励賞：西本章宏（慶應義塾大学大学院）

また、今回で第 10 回を迎えた JACS-SPSS 論文プロポーザル賞については、例年どおり秋のコンファレンスでのプレゼンテーションによって決定されました。今回は、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名の受賞となりました。副賞として最優秀賞には賞金 30 万円、優秀賞には賞金 10 万円が日本アイ・ビー・エム株式会社より贈呈されました。受賞されたのは次の方々です。

最優秀賞：千葉貴宏（慶應義塾大学大学院）

優 秀 賞：森藤ちひろ（関西学院大学大学院）

候聡聡（神戸大学大学院）

当論文プロポーザル賞は、学会での報告により、自分の研究を客観的な視点から捉え直すことのできる貴重な機会として位置づけられています。

本ニュースレターでは、各賞の受賞者を順に紹介いたします。

今号では、研究奨励賞（青木幸弘賞）を受賞された西本先生にご登場いただきました。

## JACS の新体制がスタートします！

2010 年 11 月 6 日に開催されました会員総会において学会役員が改選され、この 4 月より、高橋会長のもとで新体制（2011～12 年度）がスタートします。

会 長：高橋郁夫（慶應義塾大学）

副会長：守口 剛（前会長・早稲田大学）

山本昭二（次期会長・関西学院大学）

6 月の第 42 回コンファレンスでは、恒例の会長講演も予定されています。

**- 日本消費者行動研究学会研究奨励賞（青木幸弘賞） -**

「消費者の認知的精緻化による市場境界線の拡張

～「適度に不一致」な製品拡張の可能性～」

西本 章宏（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

この度は、研究奨励賞（青木幸弘賞）をいただき、大変光栄に思っております。厳選な審査に携わってくださった先生方、日頃からご指導いただきお世話になっております先生方、そして、「消費者行動研究」の発刊にご尽力くださいました方々に改めて御礼申し上げます。

今回、私が投稿させていただきました論文は、「消費者の認知的精緻化による市場境界線の拡張 「適度に不一致」な製品拡張の可能性」というものでした。「適度な不一致」とは、認知心理学者 Mandler（1982）によって提唱された概念です。そして、消費者行動研究において「適度な不一致」は、カテゴリー化理論を消費者の情報処理方略として適用させた Sujon（1985）の萌芽的研究を端緒とし、消費者の製品評価（Meyers-levy and Tybout 1989）やブランド拡張評価（Boush and Loken 1991）研究で明らかになってきた現象です。

ご自身の製品・サービスのご購入経験を思い出されてみて、購入された製品やサービスのパフォーマンスが期待していたパフォーマンスと少しズレていたというご経験はありませんでしょうか。そして、そのズレの原因を明らかにするために、その製品やサービスを少しでも詳しく知ろうとしたご経験はありませんでしょうか。その結果、購入前よりも多分にその製品・サービスについて詳しくなってしまったご経験はありませんでしょうか。そのようなご経験こそが、「適度な不一致」が私たち消費者の情報処理過程、そして製品・サービスの評価に与える影響です。

「適度な不一致」に注目した研究に出会ったのは、私が博士課程に入学したばかりの頃でした。博士課程の間に取り組むべき研究課題を探すために Journal of Consumer Research を斜読しているとき

に偶然にも発見したのが、「適度な不一致」が消費者の製品評価与える影響を研究した Meyers-Levy and Tybout（1989）でした。研究の方向性が定まっておらず、新しい研究に取り組もうとしたあの時に偶然にもこの研究論文に出合ったことが、今回の研究成果へと導いてくれました。新しい研究を進展させる過程には様々な諸要因があると思いますが、今回のように研究論文との偶然の出会いだったりすることもあるのだと最近になって改めて感じています。

ただ、いつも研究を進めるにあたって諸先生方からご指導を受け賜わることですが、研究には理論が大切であり、リサーチデザインを構築することこそが知識貢献であるという研究姿勢を忘れてはならないと思っています。研究を進めるに当たって、ただ単に興味深い現象だったり、洗練されたモデリングに心を奪われそうになることもあります。これからの研究においても理論を大切に、そして明らかにすべき現象を反映させるリサーチデザインを構築することを目指して日々研究に邁進していきたいと思っています。そして、学会報告やワークショップ等で皆様に研究成果を発信し、ご意見を頂戴することでさらなる研究の発展を図って参りたいと思います。

編集担当より

第10回 JACS-SPSS 論文プロポーザル賞の受賞者につきましては、次号以降で順に登場していただく予定です。ご期待ください。

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から(または組織名のみ)の振込人名になる場合は、事務局までe-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。就職や異動などの慌しさが一段落したらで結構ですので、お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記いただく方がおりますが、手続上、データベースの修正は年度末となってしまいます。変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なおホームページからもお手続きいただけますので、ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**入会資格****[学会会員]**

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

**[賛助会員]**

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**年会費**

[学会会員] 10,000 円

(但し、大学院生は 5,000 円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内**

(事務局) 法政大学 経営学部 新倉研究室  
〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1  
Email: niikura@hosei.ac.jp

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒150 - 0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (IBM 内)  
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

< JACS Website > <http://www.jacs.gr.jp/>